土木工事標準単価の基本的な積算方法(土木工事標準単価が整数の場合)

※赤字部は閲覧設計書に明示されません。

排水構造物工 U型側溝据付			工内部	是 表 表 表 表 表 元	第0-0002号表	頁0-0007
L=1000 U型(名 称 ・ 規 格 な ど	<u>削溝質量50kg</u> 数 量	g / 個 単 位	単 価	金額	備	10 m 当り 考
#水構造物工 U型側溝 (L2000) 1000kg以下 制約無 昼間	10.000	# <u>1////////////////////////////////////</u>	5, 168	51,680	土木工事標準単価	,
側溝	9. 950	個	10, 000	99, 500		
諸雑費	1	式		20		
*** A A ***	10	m		151, 200		
*** 単位当り ***	1	m		15, 120	整数止め(小数点以	以下切捨て)
作業区分:据付 U型側溝の長さ:L=1000 K1=1.17 基礎砕石施工の有無:基礎砕石施工なし K5=0.87			U型側溝の種類: U型側溝質量(1 施工箇所区分: 2		21	
夜間作業の有無:夜間作業(20時~6時)なし U型側溝単価(円/個):			時間的制約の有無	無:時間的制約なし		
設計単価の算出方法 週休2日補正=1.02(週単位(土日)) 週休2日補正単価=4,114×1.02=4,196(円/m) (整数止め(小数点以下切捨て)) 補正係数=K1×K3×K5=1.17×1.21×0.87=1.2317(少数第5位四捨五入) 設計単価=土木工事標準単価(週休2日補正)×補正係数=4,196×1.2317=5,168(円/m) ・土木工事標準単価が整数の場合、小数点以下切捨て						

長野県 建設部

土木工事標準単価の基本的な積算方法(土木工事標準単価に小数点以下がある場合) ※赤字部は閲覧設計書に明示されません。

施工内訳表 頁0-0006 区画線設置 (機・労のみ) 施工 第0-0001号表 溶融式 (手動) 実線 15cm 1000 名称・規格など 単 位 単 価 区画線設置(溶融式・手動) 豪雪無 実線15cm 制約無 昼間 1,000.000 202, 560 十木工事標準単価 208.2 (円/m) m 202, 56 諸雑費 40 式 1 202,600 *** 合 計 *** 1,000 m 整数止め (小数点以下切捨て) *** 単位当り *** 202 1 m 規格・仕様(溶融式):実線 15cm 施工区分:溶融式(手動) 塗料規格(溶融式):ビーズ含有量15~18% 白 途布厚: 途布厚 1.5 mm 舗装種別:排水性舗装に施工する場合 ₹1=1.05 プライマー規格:アスファルト舗装用 施工区間: 未供用区間 K=0.91 夜間作業の有無」夜間作業(20時~6時)なし 時間的制約の有無:時間的制約なし 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ 費用の内訳:機械費、労務費のみ(1日未満用) 設計単価の算出方法 週休2日補正=1.02(週単位(十日)) 週休2日補正単価=208.2×1.02=212(円/m) (整数止め(小数点以下切捨て)) 補正係数= $K1 \times K2=1.05 \times 0.91=0.9555$ (少数第 5 位四捨五入) 設計単価=十木工事標準単価(週休2日補正)×補正係数=212×0.9555=202.56(円/m) ・土木工事標準単価に小数点以下がある場合、 少数第3位以下切捨て ※補正係数を適用しない場合 週休2日補正あり 設計単価=212 (円/m) (整数止め) 週休2日補正なし 設計単価=208.2 (円/m) (土木工事標準単価をそのまま採用)